

2019年度実務研修会 各講座のテーマと内容

| クラスコード | テーマ | 内容 |
|--------|------------------------------------|--|
| 11 | 開講式 ・ 理事長あいさつ ・ 委員会からの報告 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 開講にあたり、創立30周年を迎えた当会の現状および今後の展望についてお話しいただきます。 ・ 国際委員長よりIAA（国際アクチュアリー会）の動向について、調査研究委員長より委員会の活動について、教育・研修委員長より継続的能力開発制度について、それぞれご報告いただきます。 |
| 21 | 公的年金財政 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的年金制度については、少なくとも5年ごとに財政検証を行うこととされており、財政検証の年にあたる2019年8月に2019（令和元）年財政検証結果およびオプション試算結果が公表されています。 ・ 本講座では公的年金財政を考えるにあたり、今一度、財政検証とは何かについて、平成16年改正による年金財政の枠組みとともに再確認するとともに、今回の財政検証およびオプション試算の結果について詳述します。また、この結果を踏まえつつ行われている制度改正に向けた議論について紹介します。 |
| 22 | 欧州連合および欧州主要国の年金政策と職域年金の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州連合（EU）の年金政策および欧州主要国の年金制度につき、職域年金を中心に、基本的な制度および財政運営の内容や最近の改正動向を、入門編を含めて解説する講座です。 ・ 今年度は、前段ではEUの年金政策を年金十分性報告などをもとに解説し、後段では特にイギリスを取り上げ、主にその職域年金の動向を解説します。ただし、制度改正の動向によっては、他の国を取り上げることもあり得ます。 |
| 23 | 公的年金給付のしくみ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的年金の給付の基本的なしくみを解説します。 ・ 財政検証で明らかになった課題にも触れつつ、受給繰下げ、在職老齢年金など事例を交えて解説します。 |
| 31 | 企業年金・個人年金の現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業年金制度、個人年金制度を取り上げ、現状と今後の課題について幅広く解説します。 ・ 本年度の社会保障審議会（企業年金・個人年金部会）での議論も含め、できる限り最新情報を盛り込みます。 ・ 企業年金の業務に携わる者にとって関心の高いテーマであり、例年人気の講座となっています。 |
| 32 | 国債市場と金利の期間構造 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業年金の退職給付会計や財政運営を考えるうえで重要となる国債市場および金利の基本的な事項を解説します。 ・ 国債市場の全体像、金利の期間構造（ゼロクーポンイールドカーブ）の推定方法を中心にご説明します。 ・ また、金利の期間構造に大きな影響を与える金融政策動向についてもご紹介する予定です。 |
| 33 | 退職給付会計実務基準 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 ・ 「退職給付会計に関する数理実務基準」および「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」と、「IAS19に関する数理実務基準」を比較しながら解説を行う予定です。 |
| 41 | 医療保険制度について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療保険制度について知ることで、社会保障制度全体の理解を深める講座です。 ・ 医療保険制度の概要、財政状況、現状と課題などの基礎的な内容を解説します。 |
| 42 | 米国の年金制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国の年金制度について解説する講座です。 ・ 前半で公的年金と私的年金に関する基本的な事項を説明します。 ・ その後、最近のトピックスについて、いくつかお話しします。 ・ トピックスの内容は、受託者責任ルール、SECURE法、Butch Lewis法等を中心とした、米国における議会、行政、裁判、企業の最近の動向に関するものを予定しています。 |
| 43 | 定年延長の事例紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定年延長を行うに至った背景、定年延長に伴って変更した制度、その際に苦労した点、留意した点、課題点等をご紹介します。 ・ 今後、増加していくと考えられる定年延長について考える良い機会となります。 |

| クラスコード | テーマ | 内容 |
|--------|--|---|
| 51 | 年金数理人が知っておきたい 資産運用の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> 年金数理人にとって資産運用の知識がますます重要になっています。年金ALM実施時はもちろん、新財政運営基準における財政悪化リスク相当額の算定においても、各資産のリスクに関する知見が求められます。 今回は、特に年金ALM実施時に必要な資産運用の知識にスポットをあてて説明します。財政悪化リスク相当額（特別算定方法）の算定方法、その他の有用と思われる話題についても解説します。 |
| 52 | IFRSの動向 - 日本基準との差異を交えて | <ul style="list-style-type: none"> 本講座では、IFRS（国際会計基準）の全体的な動向を解説します。 具体的には、最近公表された、または開発中のIFRSに関して、基準の紹介だけでなく、その開発経緯や目的等も分かりやすく説明しますので、最近のIFRSの開発動向についての基礎的な知識を得ることができる講座となっています。 必要に応じ日本基準との差異についても言及しますので、IFRSについて特段の知識が無い方でも安心して受講いただけます。ぜひ受講ください。 |
| 53 | 高齢者就業を中心とした 日本の労働政策 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の高齢者雇用就業政策は、いよいよ70歳就業機会確保の段階に足を踏み入れつつあります。 現在、70歳への定年延長、継続雇用制度の他、再就職、起業支援など多様なメニューが想定されています。 これまでの高齢者就業政策を振り返りつつ、今後の行方を展望します。 併せて、高齢者の処遇と同一労働同一賃金の問題など、関係する諸問題も取り上げます。 |
| 61 | 日本経済の動向 ～オリンピックイヤーの景気 を読む～ | <ul style="list-style-type: none"> 本講座は、エコノミストによる日本経済に関する講義となります。 いよいよオリンピックの年が迫ってきました。 米国では秋に大統領選を控えるなど、重要なイベントが目白押しの中、日本経済に与える影響と、今後の動向について分析します。 |
| 62 | 財政運営実務基準 | <ul style="list-style-type: none"> 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 最近の確定給付企業年金実務ガイド改正内容を中心に、実務関係者を主な対象とした解説を行います。 |
| 63 | 総合型DBにおけるAUP について | <ul style="list-style-type: none"> 総合型DBのガバナンス向上の観点から、年金資産が20億円超の総合型DBは、2019年度決算より、会計監査又は「合意された手続業務（AUP）」の導入が義務付けられています。 本講座では、AUP導入までの経緯、AUPの概要、総合型DBが対応すべき事項などについて解説します。 |
| 71 | 外国債券のマネージャー・ ストラクチャー（商品構成） の課題について | <ul style="list-style-type: none"> 以下のようなテーマについて、解説いたします。 <ul style="list-style-type: none"> そもそも債券の収益源泉とはなにか アンコンストレインド債券運用（制約のない債券の運用）とは 債券ポートフォリオのバランス調整について |
| 72 | 企業年金に関する裁判例の 動向及び最近の法的論点 | <ul style="list-style-type: none"> 企業年金に関する最近の裁判例を紹介し、実務への影響を探ります。また、企業年金に関する最近の法的トピックも取り上げます。 例年、受講者多数の人気講座となっています。 |
| 73 | 退職給付会計に関する フリーディスカッション | <ul style="list-style-type: none"> 退職給付会計について自由に意見交換を行う参加型の講座です。 退職給付会計の実務に携わっている方が日頃から感じている疑問や課題等をテーマに、参加者でディスカッションを行っていただけます。 実務に携わっている方の積極的な参加を期待します。 |
| 81 | 退職給付会計について （制度変更とIFRSに焦点を 当てて） | <ul style="list-style-type: none"> 退職給付会計について、我が国の会計基準と国際財務報告基準（IFRS）との処理の違いに焦点を当てることにより、退職給付会計の根底にある「本質的な考え方」をわかりやすく説明します。 具体的な会計処理の説明の部分では、退職給付制度の制度変更に関する部分を重点的に取り上げます。 資料の中では、専門的な内容を容易に理解できるようにするために、直感的に理解できる図表を多く用います。 |
| 82 | イノベーション創出につながる 人事制度の模索 | <ul style="list-style-type: none"> 日本企業は2000年以降、成果主義的な人事制度の導入を進めてきました。しかし、長らく日本の労働生産性は先進国の中で低位にとどまっています。 その背景の一つには、日本企業でイノベーションがおきにくくなっていることがあります。 本講演では、日本企業の人事制度が何故イノベーション創出に寄与できていないのか、イノベーション創出につながる人事制度の方向やそれに向けての課題を考えてまいります。 |
| 83 | 人生100年時代における年金の 「受け取り方」について | <ul style="list-style-type: none"> 「人生100年時代」と言われる中、高齢期における年金の「受け取り方」は、ライフプランを考えるうえで重要な要素となりつつあります。 本講座では、公的年金の受け取り方（繰上げ・繰下げ）と企業年金の受け取り方（年金・一時金）の比較・分析を通して、年金税制、ライフプラン、ひいては公私の年金制度の役割分担のあり方について論じます。 老後2,000万円問題や公的年金の財政検証結果の公表もあり、世間の関心が非常に高まっているテーマです。 |